

# 波佐ネット通信

No. 46 2016.4.15

## みんなで守る郷土の自然地域 「常磐のカシ林」

みんなで守る郷土の自然地域「常磐のカシ林」の管理団体である波佐文化協会は、島根県の委託業務を請け27年度事業で実施した「カシ林」の案内看板・案内標識・樹木標識を20年振りにリニューアルしました。このカシ林は、常磐山八幡宮の裏山に位置し、3,802㎡の範囲にウラジロガシ33株、ヤブツバキ100株、アシオスギ3株(県指定天然記念物)、ホオノキ、ヤマフジなどの巨木が植生しています。この他、ユズリハ、シロダモの低木。チャボガヤ、ハイヌガヤなどの常緑針葉低木が見られ、日本海側の典型的なカシ林の特徴を持ち、西限植生として貴重な樹林帯です。林内は、階段状の石畳が160m敷設してあり巡回路が整備されている。また、アシオスギの根元には的場があり、北方向へ向かって28m先に安土が現存している。リニューアルを記念して、今年の秋には、「自然観察会」を開催する予定です。



日本老樹銘木の杉

